

# 中央区立幼稚園の園長・副園長及び教員としての資質の向上に関する指標

## 成長段階の設定

成長段階については、教員が目指すべきキャリアステージが職層と一致するよう、その職層に応じて身に付けるべき能力を「人材育成の基本的な事項」として示します。

		教 員				
成長段階	観 点	教 諭		主任教諭		
		基礎形成期	伸長期	充 実 期	メンタティーチャー	経営補佐期
		1～3年目	4年目～	10年目～		
		○教員としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、社会人・教育公務員としての自覚を身に付ける。	○知識や経験に基づく実践力を高め、1～3年目の教員に助言する。 ○主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。	○園務分掌などにおける園運営上の重要な役割を担当する。 ○若手教員や同僚への指導的役割を担う。	○高い専門性と優れた指導力・人間性を身に付け、中央区立幼稚園教員全体の保育力の向上を図る。	○学級の運営を円滑に行い、園の運営に積極的に関わることができるとともに、適切な園務処理、関係者への対応及び折衝を行う。
人材育成の基本的な事項	指導力	・自園の指導計画から週案を作成し、ねらいを達成するための指導内容を考え、幼児の動きを予測しながら日々の保育を行うことができる。 ・自らの保育を振り返り、反省を生かして翌日の保育を組み立て、幼児の遊びや生活に必要な環境を整えることができる。 ・日々の記録や先輩からの指導などから幼児理解に努め、幼児一人一人の興味・関心や発達の特性を把握し、個々のねらいを意識して指導することができる。 ・入園から修了までの発達の道筋と各年齢に必要な経験を把握し、発達段階を踏まえた指導を積み重ねることができる。	・幼稚園教育要領に示されたねらいを達成するための指導計画を作成し、環境の構成や再構成、指導上の留意点を意識して保育を展開することができる。 ・日々の保育を省察し、実態を把握した上で、教師の意図を込めた環境を構成することで、幼児の主体性を育むことができる。 ・日々の記録や同僚との話し合いなどから幼児理解を深め、一人一人が発達に必要な経験を積み重ねていくために、先行経験を生かした指導ができる。 ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識し、幼・小の学びが連続していくよう、小学校教育との接続を視野に入れた指導ができる。	・自園の教育目標の達成に向けて、各期のねらいの達成状況や取組状況を評価し、他学級や異学年に向けても具体的な改善策を示して実践することができる。 ・教師の意図と幼児の主体性のバランスを取りながら、園全体の環境の構成や日々の活動・行事などの調整を担い、幼児の主体的な学びを保障することができる。 ・幼児理解に基づき、教師の意図や活動のねらいを明確にして日々の保育に臨むとともに、後輩のモデルとなり、具体的な指導・助言、提案ができる。 ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を小学校の教員と共有しながら、長期的な見通しをもって3歳時からの指導を積み重ねていくことができる。	・高い専門性と優れた指導力を保育で十分に発揮することができる。 ・幼児一人一人を理解し、幼児の成長を促す指導をすることができる。 ・保育指導資料等の開発、模範となる保育指導のための教材開発を行うことができる。	・自園の教育目標の達成に向けて、指導の重点項目の達成状況や取組状況を日々の指導に照らして的確に評価し、課題を明確にして、解決策を提案できる。 ・園の特色や課題、園全体の保育内容を把握し、互いにより環境をつくり合えるようにリードし、主体的な学びを保障する幼稚園環境を構成することができる。 ・園全体で幼児一人一人の的確な幼児理解が行われ、その子らしさが大切にされるよう、指導・助言ができる。 ・各学年で発達や学びの連続性を見通した保育が行われるよう、指導・助言ができる。 ・自らの保育を積極的に公開するとともに、自園又は他園の求めに応じて保育を観察し、適切な指導・助言をすることができる。
	外部との連携・折衝力	・上司や先輩の助言に基づき、保護者や地域との連携を図るよう努め、信頼関係を築くことができる。 ・学級経営方針、個々の課題や成長など、保護者に伝える内容を整理し分かりやすく伝えることができる。	・保護者・地域・外部機関に積極的に働き掛け、目前の課題を解決するために協働することができる。 ・外部からの情報を適切に収集するとともに、自園の教育の成果や課題について外部に発信することができる。	・外部機関等に対して園の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。 ・保護者・地域・外部機関と協働し、より質の高い教育活動を展開することができる。	・模範保育及び公開保育を実施し、保育の指導技術を普及することができる。	・保護者・地域・外部機関からの苦情や要請に対し、管理職の指示を仰ぎ、迅速かつ円滑に対応することができる。 ・積極的に地域に出掛けたり、地域行事に参加したりするとともに、地域の教育力を取り入れ、園の教育活動のねらいと成果をわかりやすく外部に発信することができる。
	園経営力・組織貢献力	・進んで園務分掌の仕事内容を学び、組織の一員としての自覚をもって与えられた役割を果たすことができる。 ・園経営方針を受け、上司や先輩に自ら報告・連絡・相談をし、コミュニケーションを図りながら園務を進めることができる。	・担当する園務分掌について、見通しをもって、企画・立案し、実施後の評価・反省から改善策を提案できる。 ・園経営方針の実現に向けて自分が取り組むべきことを理解し、積極的にコミュニケーションを図りながら園務を遂行できる。	・副園長を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する園務分掌について、若手教員等に指導・助言できる。 ・園経営方針の実現に向け、園長、副園長や主任教諭に課題解決のための具体的な対策等を提案することができる。	・保育指導力向上に必要な研修や園内研究等の企画を提案し、実施することができる。	・各会議や園務を遂行する場において、園長の経営方針を周知徹底し、園運営を推進することができる。 ・園務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をすするとともに、管理職と十分協議して園運営を推進することができる。
	教育課題に関する対応力	・幼稚園教育要領や自園の指導計画を読み込み、自らの指導や学級の課題を見いだすことができる。 ・中央区の教育課題について知る。	・自園の課題を把握し、中央区の教育課題に照らして、課題解決のために具体的な手立てを考え実践することができる。	・中央区の教育課題についての理解を深め、自園の実践を通して課題を解決していくための具体的な提案をし、若手教員に対しても適切な指導、助言ができる。	・中央区だけでなく、都や国の教育課題に対する理解を深め、その解決に向けての具体的な提案について研修の場で発信することができる。	・国・都・中央区・自園の教育課題に対する理解を深め、課題解決に向けて中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に対して、適切に指導・助言できる。

		教育管理職	
成長段階	観 点	副園長	園 長
		○園経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもつ。	○教育者として高い見識をもち広い視野で園経営ができる力を身に付けるとともに、副園長等の人材育成について責任をもつ。
学校マネジメントに関する事項	園経営力	・園長の経営方針の具現化に向け、幼稚園が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。 ・経営を進める上で必要な情報の収集・報告や課題解決の具体的な方策の提案を積極的に行うことができる。	・園経営目標達成のため、幼稚園経営上の課題を早期に把握し、課題解決に向けて、組織的に幼稚園改革を推進することができる。
	外部折衝力	・保護者や地域、関係機関の意見や要望を的確に把握し、園長の指導・助言を受け、外部人材活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、適切に対応できる。	・保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、適切に外部人材を活用した園経営ができる。
	人材育成力	・保育観察等を積極的に行い、全教員の適性や能力を把握し、園長の人材育成方針のもと、個々の教員にあった指導と人材育成ができる。	・人事考課制度を有効に活用し、教員の能力開発を行うとともに、副園長や主任教諭等の人材発掘と人材育成ができる。
	教育者としての高い見識	・研修や自己啓発を通して、幼稚園の危機管理、マネジメントや経営哲学を学び、実践することができる。	・教育に対する地域、保護者等区民の期待や保護者のニーズを把握し、高い見識や教育理念に基づいた幼稚園経営を行い、期待に応えることができる。
		・教育課題についての高い見識をもち、自園の教育目標の実現に向けて適切に対応することができる。解決に向けた目標設定を行い、的確に役割指示と組織編制を行い、見通しをもって進行管理及び評価・改善することができる。	

## 教育公務員としての自覚と責任感

**崇高な使命を自覚し、重要な責務を遂行する**  
 法令遵守はもとより、高い倫理観や規範意識・公正中立な立場を保持し、教育公務員としての職務と自己の崇高な使命を常に深く自覚するとともに、区民の信頼と期待に応えるよう努め続ける。また、日々変化する子どもの教育に携わり、子どもの可能性を引き出し、人格形成を支える職である自覚と責務をもって、不断に最新の専門的知識や指導技術等を身に付けていく「学びの精神」を持ち続ける。

**教育管理職としての責務**  
 自らが模範となり、使命・職責について教員を指導し服務規律の徹底に努めるとともに、①教職に対する強い情熱 ②教育の専門家としての確かな力量 ③総合的な人間力を備えた、「教師力」の高い教員を育成する。